

## 昭和新山とミマツダイヤグラム

世界中の火山に見られる興味深い側面の 1 つとして、火山は突然現れ、成長し、変化するという性質があります。しかし 1940 年代まで、火山の毎日の成長を正確に記録した人はいませんでした。そのような中、1943 年に大きな地震が発生し、これは有珠山が再び落ち着きを失ったことを示唆しました。翌年、この山の片側が変形し初め、新たな溶岩ドームを形成し始めました。これが後に昭和新山となったのです。この間 2 年近くにわたり、三松正夫（1888 年 – 1977 年）という名の地元の郵便局長はこの新しい山の成長を記録する為に、詳細にわたる正確な線画を描き続けました。数年後に彼の作品が世界中で出版されてからというもの、「ミマツダイヤグラム」は火山の成長を追う為の新たな参考基準となりました。